総合診療科

診療科動画　診療科HP

1．スタッフ

教授　松井（まつい）　邦彦（くにひこ）
医員　松田（まつだ）　圭史（けいし）
医員　本田（ほんだ）　宏介（こうすけ）

(地域医療・総合診療実践学寄附講座)
特任准教授　荒木（あらき）　智（さとし）
特任助教　佐土原（さどはら）　道人（みちと）
特任助教　北村（きたむら）　泰斗（たいと）
特任助教(河浦教育拠点)　鶴田（つるだ）　真三（しんぞう）
特任助教(くまもと県北教育拠点)
中村（なかむら）　孝典（たかのり）

(地域医療支援センター)
特任助教　髙柳（たかやなぎ）　宏史（ひろし）
特任助教　堤（つつみ）　龍子（りんこ）

2．特徴・診療内容

総合診療科では、内科領域の一部門として、特定の臓器や疾患等によらない横断的な内科診療を提供している。どの臓器の問題なのか明らかでない場合や、多彩な症状を訴えるために受診する診療科が明らかでない患者の初期診療を、専任医師が行う。必要に応じて専門診療科への紹介や、総合診療科で継続した診療を行っている。基本的には、最先端・高度医療の提供は行わず、身体的な問題のみならず、心理的・社会的問題についても可能な限り対応する診療を実践するのが総合診療科外来の特徴である。

当科のスタッフ医師には総合内科専門医４名、家庭医療専門医４名、総合診療専門医４名が在籍している。

3．診療体制

1）総合診療外来

総合診療科（１名)、地域医療支援センター(２名)、地域医療・総合診療実践学寄附講座(３名)及び災害医療教育研究センター(１名)の医師で外来診療を担当している。

(月曜) 荒木［初診・再診］
(火曜) 松井、堤［初診・再診］・笠岡［再診］
(水曜) 髙柳［初診・再診］
(木曜) 佐土原［初診・再診］
(金曜) 北村［初診・再診］

2）救急外来(ER)

当科は総合診療外来に加えて、救急外来での診療も救急部医師と共に行っている。

4．診療実績

1）総合診療外来

年度	外来新患数	外来再診数	入院中外来数
2024 年度	234 名	948 名	376 名
2023 年度	188 名	925 名	49 名
2022 年度	190 名	842 名	6 名
2021 年度	169 名	721 名	4 名
2020 年度	162 名	648 名	9 名
2019 年度	211 名	725 名	12 名
2018 年度	219 名	790 名	11 名

5．地域医療への貢献

・各地域への地域医療支援に関しては、くまもと県北病院、天草市立河浦病院、天草市立御所浦診療所、上天草総合病院、天草地域医療センター、天草中央総合病院、小国公立病院、阿蘇医療センター、そよう病院、有明医療センター、済生会みすみ病院において、外来診療支援及び当直診療支援を行った。

・松井が熊本県地域医療対策協議会等の委員を務め医療政策提言を行っている。

1）研究会やカンファレンス

(1) 合同Ｗｅｂカンファレンス
(2) 熊本大学総合診療セミナー
(3) 総合診療グランドラウンド

6．医療人教育の取り組み

＜教育拠点＞

「地域医療・総合診療実践学寄附講座くまもと県北教育拠点（旧：玉名教育拠点)」は教育・研究・診療等全ての面において高い評価を得ている。また、令和３年４月１日に天草市立河浦病院に「河浦教育拠点」を設置し、総合診療科の専攻医が配属されている。

＜卒前教育＞

① 地域医療ゼミ

地域枠学生等（熊本県医師修学資金貸与学生）を主な対象に実施している地域医療ゼミは、今年度は対面形式とオンライン形式を併用して、「避難所運営実習」、「シネメデュケーション」、地域枠医師と自治医卒医師の「卒業医師講演」、「熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム」の説明会等合計 11 回の活動を行った。

② 地域医療特別実習

地域医療特別実習は、将来、熊本県の地域医療に携わる熊本県医師修学資金貸与学生（熊大生）及び熊本県出身自治医科大生が、地域医療の現場に接することによって、地域医療の現状を知り、問題点を自ら学び、さらには地域医療の魅力を発見することを目的として毎年夏に開催してきた。今年度は、８月 13 日～14 日の日程で上球磨地域及び五木村において実施した夏季地域医療特別実習には、27 名の貸与学生及び自治医科大生等が参加した。さらに、12 月 25 日～26 日の日程で山都町において実施した冬季地域医療特別実習には、夏季地域医療特別実習に参加できなかった９名の貸与学生が参加した。

③ その他授業、実習等

【 総合診療学 】

本年度は、「身体診察概論」「臨床推論概論」「臨床推論演習」、および「総合診療概論」のテーマで、昨年同様全 10 コマを担当し、試験実施と評価を行った。

【 地域医療総合演習 】

令和４年度の文部科学省の「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」で採択された長崎大学、熊本大学、鹿児島大学の３大学による「次世代型教育で作る連携教育拠点構築プロジェクト～地域と暮らしを支える医療人の育成～」の教育プログラム・コースの一つとして、新たに開講したプログラムである。本演習では、教育指導のために必要な基礎的な知識や技術について全８コマで学修する。履修生は地域医療に関連したテーマを定めて、他学年の地域枠学生に教育を行う。２年目となる本年度は、医学科５年次の地域枠学生４名が履修し、修了した。

【 特別臨床実習（総合診療） 】

大学病院、くまもと県北教育拠点、河浦教育拠点の３か所で実習を実施した。大学病院５名、くまもと県北 22 名、河浦２名の合計 29 名に実習を提供した。

【 その他 】

医学部からの協力依頼に基づき、公衆衛生学、臨床実習入門について、当科教員、地域医療・総合診療実践学寄附講座教員及び地域医療支援センター教員で授業の一部を担当した。

＜卒後教育＞

① 臨床研修医

熊大病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）を選択した初期臨床研修医１人に対し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行った。

② 専攻医

当科では、新専門医制度における「熊本大学総合診療専門医プログラム」の専攻医５人に対し教育指導を行った。

また、研修の支援・指導の充実を図るため、Zoom を用いた個人面談の頻回実施と、レジデントデイは４回開催した。

本年度の当プログラムの応募状況は採用者１名であった。

③ 大学院生

令和３年度から臨床疫学研究を中心に、総合診療関連の研究を行っている。大学院生の教育を含め、幅広いテーマを対象とした臨床研究を開始している。

＜卒前・卒後教育＞

地域枠学生等をはじめ、医学科学生、研修医及び総合診療に関心のあるすべての医療従事者等に対し、総合診療への理解がより深まるよう「総合診療グランドラウンド」を毎年継続して開催している。

【総合診療グランドラウンド】

・７月 13 日 第 21 回 総合診療グランドラウンド
「講演会・症例検討会」
講師：飯塚病院　総合診療科
診療部長　清田　雅智　先生

・９月 13 日 第 22 回 総合診療グランドラウンド
「生成 AI と地域医療・総合診療教育」
講師：岡山大学 学術研究院医歯薬学域
地域医療共育推進オフィス
特任准教授　香田　将英　先生

７．研究活動

・臨床現場での多重課題における意思決定要因の解明　分担：松井邦彦（基盤研究(A)代表研究者：小山博史）

・粒子状物質による急性心筋梗塞や院外心停止の発症および発症ﾒｶﾆｽﾞﾑの解明　分担：松井邦彦（基盤研究(C)代表研究者：小島淳）

・日本医療研究開発機構 研究公正高度化モデル開発支援事業 医療分野の「責任ある研究・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ(RRI)」推進に資する取り組み　松井邦彦（AMED 分担）